

# 山の日情報

(第 18 号)

平成30年7月30日

秋田県生活環境部  
自然保護課

## 【活動記録】

7月21日に乳頭山において、ボランティアによる整備作業を行いました。  
作業には、角館高校山岳部、大曲高校登山部、大曲工業ワンダーフォーゲル部のほか、南八幡平地区パークボランティア「ホシガラスの会」など、総勢46名が参加してくれました。

当日は、予想以上に参加者が多数になったことから、高校生は「田代平避難小屋」の塗装を行い、社会人は「黒湯登山道」のロープ柵を設置することになりました。

当課職員は、高校生のサポート役をするとともに、ハシゴを荷揚げしましたが、ハシゴの重さに四苦八苦し、高校生に遅れを取りました…

避難小屋に到着すると、(我々は休むことも許されず)すぐに塗装作業は開始されましたが、準備したペンキ(24ℓ)は1時間程度で使い果たしてしまいました。

今回、分かったことは2つあります。それは、

- ① 老朽化した避難小屋の外壁は、ペンキが極端に浸透するため、ペンキの消費量は多くなる！
- ② 高校生は、作業道具などの荷物が増えても、コースタイムより早く登る！！



(荷揚げしたハシゴは現場で組み立てる)



(ペンキで汚れないようにカップを着用)



(手の届く範囲はハケを使用)



(高所部分はローラーを使用)

このため、今回は計画をしていた外壁の半分程度しかペンキを塗ることができなかつたのですが、来年はペンキの量を2倍にして、高校生に荷揚げをしてもらいたいと思っています。

高校生の皆さん、部活動の練習の一環にもなりますので、来年以降も引き続きご協力くださるようお願いいたします。

また、ホシガラスの会の皆さん、今年は結成30周年とのことであり、誠におめでとうございます。貴会を目標にして、このボランティア事業を続けていきたいと考えています。



(ペンキ塗りを終えた高校生)



(ロープ柵の設置を終えた社会人)

#### (参加者の感想)

○7月21日に田代平山荘の防腐剤塗装のボランティアをした。この日は気温が高く、日射も強かったため、過酷な作業となった。また、防腐剤、脚立、刷毛など荷揚げも苦労した。

田代平山荘の壁はひどく傷んでいて、防腐剤をたくさん吸収した。持って行った防腐剤の量では、田代平山荘の壁をすべて塗ることはできなかった。

このボランティアを通し、山小屋の管理・維持の大変さが身にしみて感じた。

去年は登山道整備のボランティアを行った。今回と同様、とても暑い日で過酷な作業だった。山はさまざまな人が、安全登山できるように管理・整備していることが、ボランティア活動を通して知り、その大変さも分かった。

山を登るときは、このような人たちへの感謝の気持ちを忘れずにしたい。

(角館高校山岳部)